情報処理安全確保支援士特定講習　講習情報

株式会社ラック

情報セキュリティ事故対応１日コース　机上演習編

実施機関名	株式会社ラック		
講習名	情報セキュリティ事故対応１日コース　机上演習編		
特定講習番号	22-005-030		
講習形態	リモート形式又は集合形式	定員（１回あたり）	20 名
受講日数	1 日間	受講時間	6.5 時間
受講料	132,000（円/税込み）		

対象分野 <ITSS+（セキュリティ領域）>	主な分野	セキュリティ調査分析・研究開発	関連分野	セキュリティ統括 セキュリティ監視・運用 セキュリティ調査分析・研究開発

講習内容	組織において情報セキュリティ事故が発生した際の対応方法、インシデントレスポンスを学ぶコースです。 座学でインシデントレスポンスの一連の流れを学習した後、ストーリー仕立てのシナリオに沿って机上演習を行い、インシデントレスポンスを体験していただきます。
具体的な到達目標	インシデントレスポンスを机上環境体験から全体像を把握する インシデントレスポンス体制の構築にあたり、必要な準備事項などを洗い出すきっかけを得る 被害者、顧客、警察など対外対応や、社員に対する対社内対応を経験し、具体策を検討できる インシデントレスポンス演習を通して、事故防止を含めたリスクコントロールの方針を検討できる
修得できるスキル	セキュリティインシデント発生時において多岐に渡る社内外含めたステークホルダーに対しての対策検討、実行プラン、実行について体系立ったスキルを会得
講習の理解・習得のために推奨される実務経験	管理職、IT技術者（インフラ系・開発系）、情報システム・セキュリティ推進部門担当者、SOC（セキュリティ運用）要員、CSIRT要員（管理系・技術系）、監査担当、経営者等、セキュリティインシデントに影響のある業務の経験
講習の理解・習得のために推奨される知識・技術	なし
技術・知識の到達度の把握・測定方法	・グループ及び個人での発表内容 ・総合演習の実行状況及び結果 ・上記を総合的に講師が判断している。
修了認定の判断基準	100%の出席率に加え、講師が総合的に評価を行った上で修了判定を行います。 判断基準については、グループ演習に積極的に参加しており、質問の状況など講師と補助講師が随時チェックして最終的に相対評価とします。
修了認定基準に満たない受講者への措置	新規に申込してもらい再度受講してもらう措置とします。費用は自己負担です。
受講者に対するサポート体制	各段階において懸念のある受講者に対し、講師と補助講師で適時認識合わせ(1チームの場合は、講師のみで判断)を実施。その上で個別にサポートを手厚くする方法とっている。 また、研修終了後の学習方法などをアドバイス。
講習実施施設所在地	東京都千代田区平河町2-16-1　平河町森タワー　株式会社ラック本社
ホームページ	https://www.lac.co.jp/service/education/incident_response_intensive.html